

卒業研究

講師名	鈴木 哲	実務経験等	県農業研究センター・農業改良普及センターでの専門 研究員・普及指導員としての経験を活かし、卒業研究 に向けた調査・試験等について指導する。
-----	------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・果樹	必修	2	通年	120	4
使用教科書・副教材	参考図書、参考文献を必要に応じて指示する。					
授業の目的	設定した研究課題について、計画自己学習能力並びに課題解決能力を養う。					
授業の到達目標	研究課題の計画を定期的にPDCAサイクルにてチェックし、予定どおりに仮定した結論に至ることができる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月16日	実施計画の確認	実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書
5月12日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 データ
6月3日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 データ
6月23日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 発表用資料
8月19日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 データ
8月28日	中間検討会	データの整理と調査結果の概要をまとめる。 途中経過を発表する。 今後の実施計画を確認する。	8	演習	作業計画書 データ
9月8日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 データ
10月6日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。 農大祭用展示パネルを作成する。	4	演習	作業計画書 データ 展示用パネル
11月5日	進捗状況と実施計画の確認	データの整理、実施状況を確認する。 今後の実施計画を確認する。	4	演習	作業計画書 データ
11・12月	研究成果の取りまとめ	データの取りまとめ、解析を行う。 プレゼンテーション資料を作成する。	68	演習	作業計画書 データ
12月1日	卒業研究成果発表会	卒業研究の成果を発表する。	4	演習	発表用資料
1月	卒業研究のまとめ	卒業論文の作成(集録・抄録)	8	演習	卒業研究論文
合計			120	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

試験・調査への取組、研究対象作物の管理、出席、卒業研究論文の内容及び卒業研究成果発表の準備、プレゼンテーションなどを総合的に評価する。

【評価割合】

論 文:60%

平常点:40%(試験・調査への取組、研究対象作物の管理、出席状況、プレゼンテーションの仕方等)

履修に当たっての留意点等

自らが主体的に課題に取り組み、試験の計画立案や日常の栽培管理、データのとりまとめ等積極的に行動すること。
担当する樹種や研究課題によって繁忙期が異なることから、経営科内での各種作業の調整など、お互い協力して取り組むこと。